山村塾は都市と農山村の住民が一緒になり環境にやさしい米づくりや
豊かな生態系の森づくりを通じて山村の環境を守るグループです

2021年12月号

こめづくり もりづくり ひとづくり

山村塾通信

「10 年の土づくり」

その昔、四季菜館（椿原家）に住み込んでお世話になっていた 20 代のころ、合鴨農法や露地での野菜づくりに取り組む椿原さんが「土づくりに 10 年はかかる」という話をしていました。それは農薬や化学肥料を使わない農業を志したとしても、「すぐには結果が出ない」という意味でもあり、もし結果が出たとしても、それは「農薬や化学肥料を使わないことによる成果ではない」、ということです。

例えば、最初の数年は慣行栽培で使用していた化学肥料の成分が残っていたり、休耕中に蓄積された養分が効果を発揮するなどして、肥料を十分に入れなくても作物が良く育つことがあります。本当に試されるのは、4 年 5 年と作物を作り続けてからであり、その将来のために堆肥をしっかりと入れ続けて、土づくりに励む必要があるということでした。

2012 年の豪雨災害以降、ボランティアの皆さんの協力を得て、えがおの森近くの棚田で農薬化学肥料を使用しない米づくりに取り組んでいます。ここでは、田植え後に米ヌカをたっぷり投入して、微生物の働きを促進することで、泥の表面をトロトロにして、雑草が生えるのを抑制しています（アイガモはいないです）。最初の数年は、効果が見えませんでしたが、数年経つと雑草の育ち具合が少しずつ変化して抑草効果が現れてきました。そして遂に 2021 年の今年、収穫量が大幅にアップ（約 20％）しました。草取りや水位調整といった管理作業が上手にできたことも一因かもしれませんが、米ヌカを入れ続けたことで、微生物の働きが活性化して、猛暑の夏に土中の栄養をうまく稲に送り込んでくれたのではないかなと思っています。そうして収穫の秋、よくよく稔った棚田の風景を眺めながら「10 年の土づくり」の話を思い出していました。

何でも手軽に手に入り、わからないことはすぐにググってしまう毎日ですが、目の前の成果に惑わされることなく、将来に向けた土づくりをしっかり行うことを大切にしたいと思います。

（小森耕太、もうすぐ 46 歳）

山村塾の無農薬栽培実験田

稲作コースより

この秋は晴天が続き、稲も鴨も順調に育って、無事に実りの秋を迎えました。

11 月は、収穫祭の代替イベントとして「里山ハイキング」を開催しました。当日は雨の心配があったため、急きょ予定を変更し、午前中は棚田で石垣の草刈りに挑戦しました。一列に並んで棚田の石垣を覆う草を切り、土を削ります。するとだんだん、しっかりと組まれた石が姿を表してきます。石垣を崩れにくくするための大事な作業なのですが、範囲が広く手作業なので、普段なかなか手が回りません。美しくなっていく石垣に達成感があり、またやりたい！との声も多かったので、米づくりのオフシーズンにまたできたらと思います！

稲作コースで、皆さんとこうして米づくりや棚田の手入れを行うことで、今年も四季折々の美しい景色や、美味しい棚田の幸を楽しむことができました。ありがとうございました。来年こそは、棚田で賑やかに収穫祭ができますようにと願っています！（原 愛子）

日付	行事名	会員	一般	スタッフ	計
8/22	鴨の引き上げ	26	0	7	33
10/9	稲刈り①	34	1	9	44
10/10	稲刈り②	22	6	9	37
11/14	秋の里山ハイキング（稲作コース編）	21	1	10	32

石垣、とってもきれいになりました！（11/14）

農家の声

まもなく 27 回目の収穫祭（里山ハイキング）を目前に、久し振りにペンを取ってます。皆様お変わりなかですか？

最初に話題にしたいのは、ここ数か月の気象状況！温暖化による亜熱帯・熱帯気候への推移として考えれば、今の状況は受入れざるをえませんが、今年ほど左右される年は初めてのように考えます。8 月の雨天続き、その後の約 1 か月以上の日照日和続きで毎日 30℃以上！晴天続きで一番よかったのは、稲刈りがスムーズに進んだこと（U ターンして 40 年近くになりますが、初めてでした）。野菜の生育度は低く、11 月に入って、キャベツ、白菜、ネギ等を購入したのは、過去においても思い出せません。常備品のジャガイモ、玉ねぎだけでは料理の幅は限られますが、これから少しずつ冬野菜の出荷が期待できるかも！

そしてまた、科学技術の進歩による社会の変化のスピードはすさまじいものがありますが、自販機、通販、パソコンを利用した情報通信の発達！人を介さないで手に入れることができ、命の通い合うぬくもりみたいなものが一層大切になっていくと私は思います。山村塾の活動こそ、その原点と考えられ、物語があり、人の見える関係というのが第一ではないでしょうか！

しかしながらですよ！身近な農作物の米とお茶の価格が低迷…。専業農家の方々は大打撃のはず。パンもコーヒーもいいですが、ご飯のあとのお茶という習慣もぜひ生活の片隅に置いていただけませんかねえ。

さて私も体力づくり！また認知症予防等々意識が高くなり、孫たちに負けるものか！と必死になっている私がいます。居場所と役割が心身の活性化になり、これから先も元気な限り、命たえるまでセッセセッセと畑へ行き、また料理も作りながら、日々を送ることでしょう！

さて、11 月 14 日と 21 日は、里山ハイキング！大したことはできませんが、晴天を願い、里山を眺めての昼食会になればと思っています！

今年最後のご挨拶となりました！一年間本当にお世話になりありがとうございました。また年末のお願いごともございますが、皆様にとって来年もよい年でありますように！よろしくお願い申し上げます！

四季菜館
椿原 まり子

山林コースより

稲作コースのハイキングから一週間後、山林コースでもハイキングを開催しました。こちらは昨年好評だった「ケヤキ林」までの軽登山に再チャレンジ！えがおの森から片道 5km の道のりです。前半は集落の中を通って棚田を眺めながら、後半は林道を紅葉を楽しみながら、のんびり 2 時間かけて登りました。お昼は山の幸たっぷりの宮園家特製のお弁当と、四季菜館から出張してきたアイガモ丸焼きを囲み、おしゃべりしながら楽しい秋のひとときを過ごしました。

標高 700 m にあるケヤキ林は、山村塾の設立当初から森づくりを行っている場所です。最初に広葉樹を植え始めてから 30 年近くたち、ヤマザクラなどの木々もずいぶんと大きくなりました。春は山菜採り、夏は涼しく、秋は紅葉を楽しめる気持ちのいい場所です。

ハイキングでは歩いて楽しみましたが、ケヤキ林では今後、どんな木や草花が育つとよいかとか、森の中でどんな活動ができたらよいかなど、山林コースで考えながら森づくりを続けていけたらと思っています。（原 愛子）

日付	行事名	会員	一般	スタッフ	計
10/17	枝打ち ＠上松尾	5	2	5	12
11/21	秋の里山ハイキング（山林） ＠えがおの森～ケヤキ林	14	1	8	23

ケヤキ林に集合！

ケヤキ林で里山の幸を楽しみました（11/21）

笠原の山々も、最近の冷え込みで紅葉が進み色鮮やかな景色となりました。

猛威を振るっていたコロナウイルスも、やっと感染者の減少傾向となりました。長かったですねー。でも、まだまだ油断出来ません。引き続き感染対策は必須のようです。

今年も、収穫祭は昨年同様にハイキングでした。天気が気がかりでしたが、どうにかもってよかったです。山林コースの活動ベース、ケヤキ林までのハイキングに参加頂いた皆さん、お疲れ様でした。稲作コースの椿原家から出張鴨焼きもして頂き、焼き椎茸等皆で美味しく頂きました。今回参加できなかった方、次回お楽しみに。来年は、収穫祭が出来る事を願いつつ、秋のハイキングもまた、違った良さを感じることができる時間なのかもしれません。私は、どちらにしても皆さんの胃袋を満たせているか？を考えるのですが…。今回は、食事準備に参加者の方にもお手伝い頂きました。有難うございました。

これから、11/28、12/4 と山林コースの行事が続きます。気候も変わり体調管理に気をつけて参加してください。また、山林コースの皆さんには、山の幸の発送を始めようと思っております。今年は、雨が少なく冷え込みが遅かったため、椎茸の発生が遅れています。準備でき次第発送しますので、待っててくださいね。

今年も残すところ 1 ヶ月と少しとなり、今から慌ただしくなりますが、どうぞ健康に気を付けてお過ごしください。そして、年明けの左義長でお会いしましょう。

山林コース
宮園 佐津美

山村塾＊活動レポート

奥八女芸農ワークキャンプ

8 月 25 日～ 9 月 30 日の 37 日間、「奥八女芸農ワークキャンプ」を開催し、ボランティア 1 名が参加しました。えがおの森に滞在しながら、棚田の草刈りやラッキョウ定植等の農作業と、アート活動としてイラストを交えた活動レポートの発信を行いました。

野上 太壱

ついこの間、刈払った元棚田から吹き出すように生える雑草、少しの間整備しなかっただけの道を容赦なく突き破って生える竹、嫌がるヤギ達の尻を押して説得させるようにしながら向かう空き地までの道のり … ここですごした日々は、「自然」の力強さを身をもって知り、それに対抗・共存するすべとしての「農業」に触れ、その過程の中でそこに関わる皆で育んだ「伝統芸能」について考える貴重な日々でした。

ついでになりますが、自分はヤギたちの触れ合いがいちばん印象深く、また 1 番恋しいですので、ヤギ牧場で出会ったヤギ達の一部の似顔絵を添えて終わりとしたいと思います。個性豊かなヤギたちに会えますので、ぜひ山村塾のスタッフにお願いして会いに行ってやってください。

野上さんの活動レポートは、山村塾ブログに掲載しています。イラストも必見！
https://egaonomori.exblog.jp/

えがおの森メンバーの活動ブログ

＼みんなで踊ろう！／ 八女茶山おどり

11/14 はえがおの森にて「唄って踊って味わう八女茶山」を開催しました。山村塾では農業や林業の作業的な活動が多いですが、今回はいつもと違い、生活に欠かせない娯楽的な一面も体験できるイベントで、とても楽しかったです。たくさんの方々と一緒に唄ったり踊ったり、八女茶を味わいながら茶山について語ったりする非日常的な一日でした。八女茶山唄の唄い手として八女市観光大使・民謡アンバサダー馬場美雅さんと、八女茶山おどりを創作した民俗芸能アーカイバーの武田力さん、八女茶娘の江崎由紀さんと小田玲奈さんも参加され、大変盛り上がりました。来年もぜひ一緒に唄って踊って、八女茶山の生活を味わいませんか。（ヤン キンホン）

その他の活動報告

▸ 日帰りボランティア

国際ボランティアの募集が難しいなか、日帰りでのボランティアを募集し活動をしています。
8 月～ 11 月は計 9 回実施し、延べ 27 名の方々に参加いただきました。草刈りやラッキョウ畑の手入れ等が順調に進み、稲刈りも無事に終えることができました。ありがとうございました。
【活動内容】棚田の草刈り、畑仕事（草取り、サトイモ収穫、電気柵設置等）、竹林整備、稲刈り、竹皮の選別など

12 月以降も月に 2 回程度活動予定です！

▸ そのほかの活動

日付	活動内容	会員	一般	WC	スタッフ	計
8/28-29	里山ミニワーク 棚田の草刈り	3	3	1	4	11
10/30	全体行事 鴨さばき①	17	1	0	8	26
10/31	全体行事 鴨さばき②	14	0	0	8	22

～新スタッフ紹介～
ヤン キンホン

はじめまして、山村塾の新入スタッフ楊 景筐（ヤン キンホン） です。

香港出身で5年前留学しに日本にきました。東京にある桜美林大学で哲学と博物館学を専攻し、学芸員資格を取得しました。ボランティア募集サイトで山村塾のことを知り、学芸員課程で学んだ知識を活かせるような仕事ができると思い、山村塾の職員応募に申し込みました。里山景観を保全しながら様々な形で活用していき、里山の価値が色褪せないよう、さらに新しい価値を創出していく仕事は魅力的で、山村塾に決めた一番の理由でもあります。小学校入学までは香港にあるわずかな田舎に暮らしていたんですが、小学校以降はずっと都会で暮らしてきました。

いま再び田舎生活再開ということで、期待と不安いっぱいで「五味雑陳（なんとも言えない複雑な気持ち）」です。今までアートやデザイン、ビジネス、人文科学など様々な知識と技術を幅広く勉強してきましたが、今後私の全てをこの黒木町笠原でどのような形で活かしていくのでしょうか。山村塾の新しい力として活躍できるよう頑張りたいと思います。

退職のご挨拶
ファン ポウェイ

山村塾で3年5ヶ月働いてきまして、そのまま笠原に住み続けると思われていた方もいらっしゃるかと思いますが、7月末で山村塾を退職し、9月に台湾に戻りました。しばらく台湾の食べ物になじまなくて、胃腸の状態が2か月弱まっています。また、台湾で出会った日本人と八女の方言でしゃべってしまうこともあり、やはりある程度八女に染まったんだなと感じています。

里山のことを勉強するために、最初は留学生として来日しました。2018年の春から笠原の古民家に引っ越し、田舎暮らしを始めました。市街地に比べ、もろもろ不便があるため、環境と向き合い、自分で考える時間が増えました。氷点下になるから、通気性のいい履物と着替えを準備して杉山を入ること、イノシシが芋を食べに来るから、電気柵と草刈りをしておくこと、たくさんの方がえがおの森で食事をするから、献立を考えることなど…。当時はわからなかったことが、知らず知らずに身に着いてきて、笠原のライフスタイルに染まりました。

アラサーまで市街地で暮らしてきた自分にとって、この田舎暮らしの数年間は一生の宝ものだと思っています。笠原に移住してから、自然の中で暮らすことの良さを発信ができるようになるまで、一連の努力の中から里山との接し方がわかるようになり、モノゴトの考え方も変わりました。言葉では伝えられないことが多いため、田舎暮らしに憧れている方には、実際に体験してもらいたいです。営業ではないですが、まず山村塾が行っているボランティアワーク、研修生制度などの事業にたくさんの方に関わってもらいたいです。

最後に、台湾に帰っても、ヤギ散歩をし、火を焚きながら焼酎を飲む生活を送りたいです。残念ながら台湾の田舎に詳しくはないので、しばらく場所を探し回っています。現在はとある生態系調査のコンサルに所属し、出張するたびに暮らす場所を検討しています。山村塾台湾支部を楽しみしている方は、もう少し待ってください！引き続きよろしくお願いします。

事務局より

認定 NPO 法人山村塾 会員募集中！

〇会員の種類は、総会での議決権を持つ正会員と議決権を持たない賛助会員の 2 種類です。
〇いっしょに田んぼや山で働く活動コース会員（稲作・山林、稲作、稲作 30kg、山林、古里）も、いつでも募集しています！

ご寄附のお願い

山村塾の活動は、皆様からのご寄附で支えられています。ご協力のほどよろしくお願いいたします。
＜ヤマヤマ基金＞農山村の環境を守る活動全般に役立てられます。

▶ご寄附の方法

■郵便振込口座から
加入者名：特定非営利活動法人山村塾
口座番号：０１７９０－３－１６９３９８

■銀行から
銀行名：ゆうちょ銀行　店名：一七九（店番：１７９）
口座：当座　０１６９３９８
※銀行からお振込みされた方は、お名前とご住所またはメールアドレスをお知らせ下さい。

■農産物を買う
会員の方が、椿原家と宮園家の農産物・林産物を購入されると、その一割がヤマヤマ基金へ入ります。

■古本で寄付ができます！
古本や DVD を「きしゃぽん」にお送りいただくと、買取金額が山村塾への寄付となります。ぜひご協力をお願いします。（古本集荷依頼 TEL：0120-29-7000、山村塾に寄附したい旨をお伝えください。）

◎年会費納入
以下の方々から年会費を納入いただきました。ありがとうございます。（10/31 入金まで。敬称略）
■正会員：澤田基行、平島道明、武藤久登
■賛助会員：古賀千鶴、小柳友博、清水英喜
■活動コース会員：【稲作】久保川春菜、澤田基行、平島道明

◎寄附者
以下の方々から頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。（10/31 入金まで。敬称略）
■ヤマヤマ基金：今西勇気、国広信幸、松延正博、椿原寿之、吉元俊憲、中島幸代、池尾久美、木村莢佳、林俊彦、江口勝也、宮園福夫、原龍朋、金子緑、背川歌子、吉住君子、古賀芙久美、武田綾子、浅見照美、松尾靖子、毛利宗孝、原豊和、井上直美

◎企業・団体からの寄附
■古本募金きしゃぽん様を通じてご寄附をいただきました。（7/20:2,243 円、9/17:876 円、10/20:1,391 円）

山村塾 今後の予定

日程	行事名
1/8（土）	左義長準備
1/9（日）	全体行事「左義長」
2/6（日）	山林コース「しいたけ菌打ち」
2/12（土）・13（日）	里山ミニワーク「農産物加工」
2/27（日）	山林コース「植林」
3/13（日）	山林コース「炭焼き」

行事および里山ミニワークの開催については、状況に応じて随時判断します。最新情報はホームページ、メールニュースにてご案内します。
※ FAX や郵送でのご連絡を希望される方は、事務局までお知らせください。

山村塾の公式インスタグラムできました！

山村塾の日々の活動を発信中です！

SANSONJUKU_OFFICIAL
@ sansonjuku_official

編集後記
収穫の秋、彩りの秋、イベント盛りだくさんの秋…。慌ただしくも賑やかで楽しい季節でした。2021 年も大変な 1 年でしたが、山村塾に様々なかたちで関わってくださったみなさま、ありがとうございました！この冬は寒くなりそうです。あったかくしてお過ごしくださいね。（原 愛子）

最新情報は
ホームページより

山村塾 | 検索

https://sansonjuku.com

＼お問い合わせ大歓迎！／

山村塾　認定 NPO 法人 山村塾
〒 834-1222　福岡県八女市黒木町笠原 9836-1
TEL・FAX 0943-42-4300
Email：info@sansonjuku.com **HP** https://sansonjuku.com
FB　https://www.facebook.com/sansonjuku
発行者：小森 耕太
編集者：原 愛子

※山村塾は認定 NPO 法人です。山村塾へのご寄付は寄付金控除の対象となります。